

学校法人 尚綱学院

ミッション(教育理念)

キリスト教精神に基づく教育によって、他者と共に生き、人間の幸福と社会の発展に貢献する人の育成

ビジョン

一人ひとりの賜物を育み、そのことによって社会に貢献し、地域から信頼される学院を築く

方針

1. 学生・生徒・園児の学ぶ権利を守り、1人ひとりが建学の精神を体現し、個性・能力を活かした進路を取れるように教育を行う。
2. 高大接続改革を十分に取り込み、中高・大学間の連携による一貫した教育と、それぞれの教育の質の向上を目指す。
3. 地域との連携とグローバルな視点に立った専門教育により、地域の発展に貢献できる人を育む。
4. 地球温暖化などの自然環境やAIの進展などの産業技術の変化に対応する教育も重視し、持続可能な人間社会に貢献する人を育む。
5. 学院の教育活動と財務状況は表裏一体であることを全教職員が理解し、効果と効率の双方を重視して、事業計画を策定し、着実に実行する。
6. 教職協働を一層強固にし、教育の質向上を推進するために、教職員の人的資本の開発のための効果的施策を実施する。

大学・大学院

目標

1. 尚綱学院大学における「学び」の再構築-3学群体制の円滑な発進・展開
2. 教育改革を通じての好循環の確立とブランドコンセプトの定着

方針

1. 建学の精神を体した人間教育（心を響かせる）
 - ①キリスト教教育の充実
 - ②多様性を認め、協働する態度の育成
 - ③学修の内発的動機付け
 - ④地域社会への貢献(ボランティア活動を含む)
 - ⑤同窓会等への連携強化
2. 学群制の下での「学びの最適化」及び高度化の実現（自信をみかく）
 - ①学修者本位の教育へさらなる進化
 - ②教育の質の保証と情報発信
 - ③高大接続改革の推進
 - ④多様な学生への教育支援体制の整備(社会人、留学生、障害のある学生、経済的に支援が必要な学生等)
 - ⑤学生生活の充実
 - ⑥学群を越え、大学を越えた資源の活用
 - ⑦研究機能の高度化、大学院の充実
 - ⑧学科制の完結に向けた取り組みの充実
3. 多様な価値観が集まるキャンパス（キャンパスをひらく）
 - ①地域連携・交流の推進
 - ②国際交流の推進
 - ③リカレント教育を通じた世代を越えた「知識の共通基盤」の形成
 - ④スポーツ交流の推進
 - ⑤教育・研究活動の成果の社会へ発信と情報公開の推進
 - ⑥教育・研究を支える基盤の構築

中学校・高等学校

目標

1. キリスト教を土台として、人間のあり方を探り、他者と共に生きる生徒を育てる。
2. 社会や時代の要請にこたえ、未来を切り拓くたくましい生徒を育てる。

方針

1. 自分を愛し人を愛する、真に自律した心優しい生徒を育てる。
2. 国際教育の充実を図り、国際社会の一員として生きる生徒を育てる。
3. 学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性)の着実な向上を図る。
4. 生徒一人ひとりの賜物を活かす、進路目標の実現を支援する。
5. 学校の魅力を広く周知し、「選ばれる私学」(第一希望で入学したい学校)となり、より多くの志願者を確保する。
6. 尚綱学院大学との連携を推進し、教育活動のさらなる充実と発展を図る。
7. 地域連携・地域貢献を推進し、地域に愛され、地域の誇りとなる学校をめざす。
8. 教職員が協働して、教育の質の向上をめざし、教育活動に取り組む。
9. 生徒が安心・安全に生活できる学校環境づくりを行う。

幼稚園

目標

1. 「愛される子ども」「他者とともに」を大切にする幼児教育を展開していくことで、子どもたちが自己肯定感、他者との相互信頼を育てていくことができる。
2. 子どもたちが大きな自然と信頼感あふれる教員に包まれながら、集団の中で豊かな生活と遊びを展開することで、限りなく豊かに成長・発達していくことができる。

方針

1. 感謝と祈りを大切にする教育を維持・発展させる。
2. 子どもたちが集団の中で多様な遊びを豊かに展開することで、自分の可能性を広げつつ、深い他者理解、相互信頼を育ていけるよう配慮する。
3. 大自然に抱かれる保育環境を整え、「命」に触れながらその大切さを思う機会を子どもたちに提供する。
4. 子どもたちの生活と遊びが豊かに展開される保育を提供することで、限りない成長・発達を願う保護者の期待に応える。
5. 園を地域社会に開き、保護者のみならず様々な大人との関わりを通して自己肯定感と他者信頼を育む。
6. 園の伝統を大切にし、大学附属に相応しい専門性と先進性が高められるように教員の研修活動を推進する。
7. 地域社会、行政との連携の下に、子育て活動の一翼を担う。
8. 適正数の園児を確保しつつ、財政健全化、教職員構成の適正化に向けて具体的に検討していく。

事務局

目標

学生・生徒・園児の充実した学びのために、自ら課題を発見し、主体性をもって他と協働して解決する職員、情報と意識を共有し、一体感をもって業務を遂行ができる組織を目指す。

方針

1. 目標管理制度の定着、評価制度の実質化、研修によって職員が自主的に力量を高める。
2. 「報告・連絡・相談」を徹底し、業務に関わる情報と意識の共有を促進する。
3. システムの構築、相互理解、協働によって業務遂行の効率化、高度化を進める。
4. 「働き方」の改善を進める。(有給休暇の取得促進、超過勤務削減)
5. 学院の財政改善のため、収入の確保、支出削減のためにあらゆる方策を実行する。
6. 社会に向けて学院の取り組みを発信し、「SHOKEI」ブランドを確立する。
7. 教育・研究等の活動が安全・安心のもとに行える環境整備に取り組む。